

J R 東海労働組合関西地「申」第18号
2020年11月25日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

新幹線車内の三密対策に関する申し入れ

政府のG o T o トラベルキャンペーンと秋の行楽シーズンにより、新幹線のお客が増加している状況がある。指定席の乗車率が90パーセントを超える列車もあり、車内が三密状態になっていてコロナ感染の危険性が高まっている。まさに危機的状態と言える。私たち東海労は、お客様の安全を最優先に考え三密を避ける対策を求める。

以下のように申し入れるので早急に団体交渉の場を設置すること。

記

1. 11月1日以降の「のぞみ号・ひかり号・こだま号」の乗車人員と乗車率を明らかにすること。
2. 全国での一日のコロナ感染者が2000人を超えている。今後も感染者の増大が予測されている中で、お客様に対してのコロナ感染予防の対策を考えているのかどうか明らかにすること。具体的な対策内容を明らかにすること。
3. 車内で業務する車掌に対するコロナ感染の危険が高くなっている。新たに車内におけるコロナ感染予防の対策を考えているのかどうか明らかにすること。具体的な対策内容を明らかにすること。
4. 乗車率が90パーセントを超える列車が、列車種別や時間帯に関係なく見受けられる。何らかの処置を講ずる必要があると考える。会社としての見解を明らかにすること。
5. 車内における三密対策として、当面の間、指定席のB席とD席の発売を中止すること。

以上